

秋のこだま便

(R2第7号)

令和2年9月17日(木)

3密、感染防止を考えながら、秋の諸行事を行っていきます。

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋、・・・いろいろなことができる過ごしやすい時期がやってきます。

しかしながら、感染症対策・新しい生活様式を考えていく中で、学校行事も考えざるを得ません。

その基準は、「県感染症リスクレベル」そして「その活動が三密回避できるか」を第一としていくつかのポイントをクリアしなければならないかと思っています。

そんな状況においては、「6年修学旅行を11/17～18に延期」「低学年のおもちゃランドや伝承遊びは形を変えて検討」「4年生の老人ホーム交流体験は中止」そして「ミニ運動会の在り方」など検討を重ねているところです。

「見学バス旅行」については、子供たちも楽しみにしているかと思いますが、実施の方向で進めています。

(速報)ミニ運動会について

○6年生、そして5年生も含めた高学年がリードし、活躍する場を設ける意味でも、なんとかできないかと工夫を凝らして計画してもらいました。

○10月30日(金)午前中に実施予定です。参加者は「同居家族」(来賓はCS委員のみ)「駐車場は詰め込み方式」「児童は給食、後片付け後下校」のような形となります。

○詳細はおって連絡します。

(速報2)ふもとマルシェについて

○コロナ禍の中、「マルシェ会場は三密で難しい」「シティモールでの市場調査も難しい」「ミニ運動会の時期と重なる」「最重要は時数が減っている1日1日、1コマ1コマの授業。それを大事にする」という考え方のもと、取り組みを中止することにしました。

○来年度は、延期した市指定キャリア教育研究発表会もあります。1年間のブランクとなりますが、本校児童にとって有意義であり有益な教育活動を、再構築していきたいと考えています。

想定外^{そうていがい} を考える

この言葉はいつ頃よく聞かれるようになったのでしょうか。私にとってはH23東日本大震災^{しんさい}あたりかと。あの地震は確かに多くの方々が想定外^{つうかん}を痛感しました。

それ以降^{いこう}、熊本地震もそうですが、新型コロナウイルス^{きょうしよく}対策、そして今回の台風10号もあり。教職生活^{きょうしきく}37年になりますが、これまでに臨時休校^{りんじ きゅうこう}になったことは2～3回あったのでしょうか。

それだけ「想定外」のことがよく起こる時代となったわけです。天災^{てんさい}だけでなく、人災^{じんさい}も起こります。

だからこそ、「転ばぬ先の杖^{ころば さき つえ}」ではありませんが、先の先、その先を見通して、右に転んでも左に転んでもいいような準備^{じゆんび}をしておくこと。そういった先を見通す力（先見性）が、これからの時代、大切ではないかと思っています。

先を見通すためには、過去がどうだったかを知っておく必要があります。そして今はどうなのか。そこからしか先は考えられません。そこが曖昧^{あいまい}だと「想定外^{たいしよ}」に対処できないのだと思いました。

想定外にならないでいいように、先見性^{せんけんせい}。



台風10号の避難所となった学校



台風一過、秋晴れの校庭

（^{ふほう}計報）先日、9月8日、本校用務員の嶋村^{ようむいん}聖^{しまむら}一先生がご逝去^{せいきよ}されました。6年間に長きにわたり、子供たちが学びやすい教育環境づくりにご尽力^{じんりよく}いただきました。ご冥福^{めいふく}をお祈り申し上げます。

お知らせ

保護者の皆様へ

県感染症リスクレベルが最高値を継続していることに

照らし、**9/12（土）地域参観日は中止**することにしました。

ご面倒をおかけします。



学校からの連絡・行

学校からの連絡

タイムリー連絡から

全ての記事▼

10件▼

今一度感染症対策。気をひきしめて。

投稿日時：09/11 承認者

報道によれば、荒尾市内でも4人ほど陽性反応が出たとのこと。

それに伴い、濃厚接触者にもPCR検査が行われます。

目に見えないだけに難しいのはわかっています。

でも、できる対策はせいっぱいしたいものです。

「検温して登校」「室内ではマスク」「こまめに消毒」

校内を見渡したとき、果たして危機意識はあるのか、疑う場面にもでくわします。

できる対策はせいっぱいしたいものです。できることから。

学校ホームページより